

第1回 江南区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	平成27年7月23日(木)午後1時30分から午後2時57分まで
会 場	江南区役所3階 302会議室
出席者	江南区自治協議会委員 出席28名 教育委員 齋藤教育委員、伊藤教育委員 事務局 教育総務課長、地域教育推進課長、学校支援課長補佐、亀田地区公民館長、 江南区教育支援センター所長・指導主事
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 伊藤教育委員</p> <p>3 出席者紹介(齋藤教育委員、事務局)</p> <p>4 教育委員会制度の変更点について 事務局説明 教育総務課長</p> <p>5 テーマ「地域と学校の連携～主に青少年の健全育成に関連した取り組みについて」</p> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">事前質問回答</p> <p>(1) 青少年育成協議会について</p> <p style="padding-left: 20px;">① 中学校区単位の街頭育成活動が廃止され、学校と地域の情報が共有されにくくなった</p> <p style="padding-left: 20px;">② 区内小中学校における「青少年の健全育成」についての各団体との連携と活動内容</p> <p style="padding-left: 20px;">③ コミュニティ協議会と青少年育成協議会との役割分担について</p> <p>(2) 地域と学校の連携について</p> <p style="padding-left: 20px;">異年齢の子どもたちがかわり、地域の芸能の活性化や、結果として地域のお年寄りとの交流やコミュニティの連携が強化されるような取り組みを期待</p> <p>(3) 活動にかかる予算について</p> <p style="padding-left: 20px;">地域連携のために学校に自由度の高い予算配当を</p> <p>(4) 子ども見守りボランティアについて</p> <p style="padding-left: 20px;">各学校での独自の活動事例の紹介を</p> <p>6 意見交換</p> <p>【(1)について意見や各地区の活動紹介、課題など】</p> <p>自治協委員</p> <p style="padding-left: 20px;">街頭育成員として中学校区で声かけをしていたが、今年度から中学校区は廃止</p>

となり、情報共有の場がなくなったと思う。現在、各学校がどのような状態で地域がつながっているのか教えてほしい。

教育委員会事務局

中学校区の街頭育成活動は廃止し、中央育成に力を入れることになりました。ほとんどのところで育成協やPTA、コミ協など代わりに実施する団体があります。今後も地域の子供を地域で守るという姿勢は大切にしていきます。見回りの結果は学校に伝えていただくと、学校ごとで生徒指導主事会や学警連などの場で情報交換ができると思います。

自治協委員

コミ協やPTAなどボランティアの巡回は9時までで、遅い時間には対応できないので限界がある。警察のパトロール強化が必要。一概に教育的立場から青少年育成、安心安全などというが現実はなかなか厳しいと思う。

自治協委員

横越地区は地域公民館が9か所あり、活動を通じて健全育成に貢献しているが、今年で予算を切られるので不安。コミ協も活動熱心だし、自治協の環境教育部会でも子どもたちの意見を受け、一緒に「街灯清掃」(横越横雲通りピカピカ大作戦)をやる予定。

自治協委員

早通地区は防犯防災より交通安全の面で、登下校時、特に冬場などは重点的に安全指導をしている。

自治協委員

大江山地区だが最近はめっきり子どもの姿を見なくなった。育成協は夏休み中に委員が見守り。中学校のPTAの育成部で年間を通じて巡回。

自治協委員

曾野木地区は、街頭育成は地区の育成協が引き継いだ。祭りの時は中学校の育成が見回り、自販機、コンビニの成人雑誌などは幹部がやるなど、役割分担をして活動。

自治協委員

育成協とコミ協の活動範囲の整理が難しい。活動時は会員も非常に忙しく、夏休み行事など他と同じような活動に、子どもも大人もかり出されて付き合いきれないとなるのも心配。亀田地区は4地区あり協力依頼も難しい。整理するため意見交

換会をやったが全員出席でもなく、今後も悩みながらやっていくことになる。

教育委員会事務局

コミ協と育成協の明確な役割分担について、今のところご紹介するものはありません。それぞれの実績活動があるので立場を尊重しながら進めていくものと思います。事業が増えて子どもたちの取り合いになってはならないし、「子どもたち」の観点から実情に合ったやり方を探していくのが一番と考えます。

【(2)について意見や各地区の活動紹介、課題など】

自治協委員

「学・社・民の融合」はずいぶん前から聞いている言葉だが、横越地域ではコーディネーターとコミ協がうまく連携して活動しており、今が一番うまくいっていると思う。学校で地域のお宝を回って歩く事業を年2回取り組んでいるほか、秋にも自治協部会の活動で子どもたちとの意見交換会を準備している。

自治協委員

亀田東小の自慢として、家庭教育学級を以前から立ち上げ60数名の登録がある。コミ協とよくつながっており、親子ヨガ、笹だんご作りなどのイベント実施や、亀田祭り甚句流しも夜親子で100人程度と年々増加している。

自治協委員

横越小では地域に遺跡が多く、ドリームプロジェクト支援事業を利用して、地域の方と一緒に地域を回り、地元の郷土史家から歴史を教えてもらう。本年度からNP Oも関わり他の地域からの参加もある。

自治協委員

課題の「ボランティアの発掘」という点では、高齢化しているが、広がっており、新一年生の保護者など新しい人材も増加している。学校でパートナーシップ事業の「学びの拠点」として地域の人から教わることも実施(フラワーアレンジメントや着付け教室)。口コミの影響が大きい。普段あまり見ないことを学校の中で見られるのは、子どもに影響が大きいと思うのでこれからも広げていきたい。

自治協委員

ボランティアは高齢の方が多く、本人は承諾するがお嫁さんが断ったり、若い人は忙しかったり難しい。人から人へ声をかけて来てもらっている。

自治協委員

大江山地区コミ協で地域づくりのマップを作り学校でも活用している。学校では

地域と連携して活発に活動している。ボランティアは高齢化しているがPTAの協力体制がしっかりしている。3校合同のあいさつ運動があり、大人が子どもに積極的に接していくことが非行防止にもなると思う。一声かけるのが必要と感じている。

自治協委員

両川地区だが、今は学校と地域の連携をしないと動けないようになってきていると思うので、ボランティアのなり手が少ないというのはあまり心配していない。子供が減って、学校の部活動が成り立たなくなったり、学校がなくなる心配の方が先である。コミ協と育成協のすみ分けもあまり心配はない。

自治協委員

定年後にボランティアとして地域に奉仕しようという人が多いが、一生懸命過ぎて近所から苦情が出たことがある。輪を広げると言うのが難しく、無報酬なのでなおさらである。

教育委員会事務局

亀田西小のウェルカム参観日でのボランティアの方の話で印象に残ったことは、「自分たちは教科書にないことを教えている。小さい時の経験があるとないのでは全然違うし、大人になった時にいろんな感動ができるようにしたい。」と未来を語られていたことです。ボランティアの方々でこういうムードを作っていくのは大事だと思います。別の方は子どもたちの成長を見て喜びを感じているとのことでした。無償で申し訳ないのですが、たくさんの方から協力していただいている事業です。どのように広げてくかについては、口コミや一緒に関わった仲間に声かけするなどのことが大事かと思います。

自治協委員

中学生の職業体験を受ける側であるが、学校からの依頼文書が来る時期がまばらで困る。片一方で成り立っている事業ではないので考えてほしい。

教育ビジョンを見させてもらったが配布されたのか。どこがどう変わるのか冊子を使いながら説明してもらえるのかと思った。

教育委員会事務局

職業体験は子ども達にとって貴重な体験の場であり、企業側の好意で成り立っているものです。申し訳ありません。速やかに依頼文書を発送するように、また、地域の信頼のもとでやっていく事業なのだと校長会等で伝えます。

ビジョンについては27年度から5か年の実施計画をスタートしたところです。4月の自治協議会で概要版の説明をしました。本冊は厚いので全員にはお配りしていませんが、教育支援センターや教育総務課にお申し出ください。

自治協委員

区体育協会で横越地区には剣道で45年指導しているが、今の子どもたちは三代目となり、ボランティアの最たるもので生きた教育であると思う。会員には、事故がないように気を引き締めようと声をかけている。

教育委員

地域での連携の様子が分かり、驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。先日「地域と学校ウェルカム参観日」で、江南区のよい活動を拝見しました。多くの地域でやっていただきたいが、駐車場の問題があり呼びかけが中学校区や区内までとなっています。学校の活動を知らない人に伝えることも、自分たちの良い振り返りになると思うので、うちの学校区でもやってほしいと学校に声をかけていただきたい。

教育委員

コーディネーターがいろいろな形で地域と学校を結んでいることを改めて実感しました。「学・社・民の融合」とは、学校だけではなく地域全体で子どもたちを支えようというものです。地域の方々が将来ある子どもたちを支えることで、地域の方々の結束もそこに生まれてくるという良い循環になると思います。引き続き、子どもたちを皆さんの力で支えていただければありがたいと思います。

7 自治協議会代表挨拶

地域あつての学校、学校あつての地域である。私のところは5年前に2つの学校を閉校させて統合小学校を開校させた地域。閉校するということは地域も衰えていくような気がしている。今後ますます少子化が進むので、教育委員会には十分地域の実情を認識いただき、地域のために知恵をいただきたい。中学校区ミーティングも始まっているし、区担当制も実施されているので、今以上に地域に入っていたければありがたい。

8 閉会